

# ウルトラファインバブルアダプター ウルプロ Z 工事説明書

## 施工動画



取付は左記QRから  
動画でも確認できます。

## 重要

**この循環金具には  
配管長に制限があります。  
必ず以下の配管制限を  
守ってご使用ください。**

配管制限 ※機器側の配管制限と比較し、短い方にしてください。

|                  |       |         |
|------------------|-------|---------|
| 10A樹脂管・10A追焚用ホース | 最大10m | 10曲がり以内 |
| 13A樹脂管           | 最大25m | 10曲がり以内 |
| 15A追焚用ホース        | 最大25m | 10曲がり以内 |
| 13A三層管           | 最大10m | 10曲がり以内 |

配管長はできるだけ短くしてください。

## 重要

**循環金具は水が流出しても支障がなく、  
吸気配管交換などのメンテナンスができる  
ところへ設置してください。**

**配管接続「行き・戻り」指定あり**

**⚠️ 製品取り付け後、必ず動作  
確認を行ってください。**

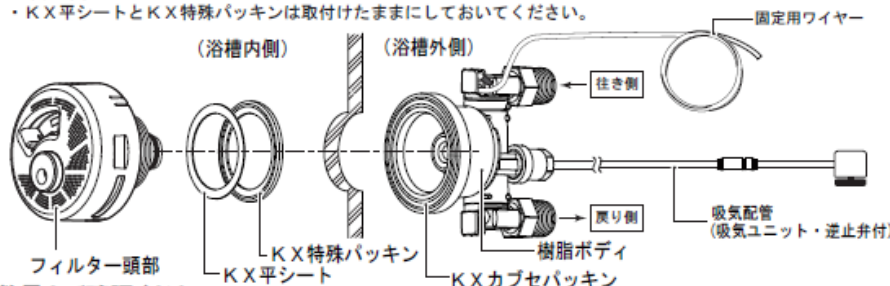
## ⚠️ 注意

- ・この循環金具は浴槽の厚さ15mm以下のものに使用できます。
- ・専用の漏れ検査治具を使用して、追焚配管の漏れ検査を必ず行ってください。
- ・循環金具の突起で手指などにけがをしないように注意してください。
- ・循環金具からは高温水（60～80℃）が出ることがありますので注意してください。
- ・強酸性の洗剤や塩素系のカビ洗浄剤は部品をいためるおそれがありますので使用しないでください。

## 部品の名称と確認

この製品本体は組み付けられています。

- ・KX平シートとKX特殊パッキンは取付けたままにしておいてください。



数量をご確認ください。

|                |   |                             |   |
|----------------|---|-----------------------------|---|
| フック棒 (樹脂)<br>  | 1 | 行きシール、戻りシール<br>(各2枚入)<br>   | 1 |
| 締付工具<br>       | 1 | 注意シール<br>(水貼りタイプのシールです)<br> | 1 |
| 工事説明書 (本紙)<br> | 1 | 取扱説明書<br>                   | 1 |

必ずお客様にお渡しください。

必ずお客様にお渡しください。

## 配管の接続

①配管の両端に「行きシール・戻りシール」を貼り付ける。



シールの貼り間違いがないこと

②配管を接続する。

必ず給湯機側の「行き」と循環金具側の「行き」、給湯機側の「戻り」と循環金具側の「戻り」を合わせてください。

配管の行き・戻りを間違わないこと

行き・戻りを逆に接続すると正常に作動しません。  
給湯機の故障につながります。

配管制限 ※機器側の配管制限と比較し、短い方がしてください。

10A樹脂管・10A追焚用ホース 最大10m 10曲がり以内

13A樹脂管 最大25m 10曲がり以内

15A追焚用ホース 最大25m 10曲がり以内

13A三層管 最大10m 10曲がり以内

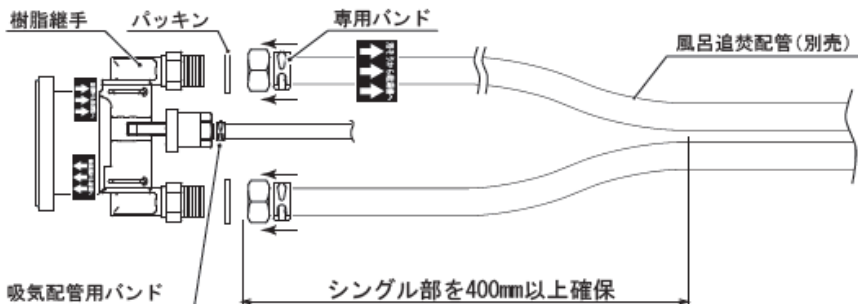
※樹脂継手は必ずパッキン(現地調達)を使用してください。  
パッキンを使用しないと漏水の原因となります。

テーバーねじとの組み合わせ禁止

G1/2ねじ締付トルク: 20N・m(約200kgf・cm)

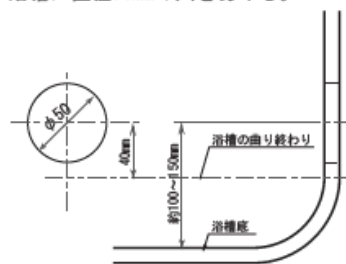
●上記のトルクを超えない様にねじ込んでください。  
目安: ノンスパッキン 手締め後約1/3回転  
ゴムパッキン 手締め後約1回転

※配管シングル部を400mm以上確保  
継手接続部に負荷がかかり漏水の原因となります。



## 浴槽の穴あけ

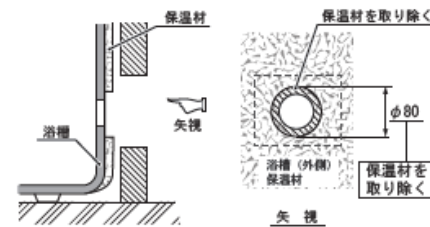
浴槽に直径50mmの穴をあける。



穴は底面などの曲がりにかからないこと

循環金具の締め込みができません。

※浴槽の外側に保温材があるものは、(単位: mm)  
直径約80mmの範囲内を丁寧に取り除いて  
平面を確保してください。



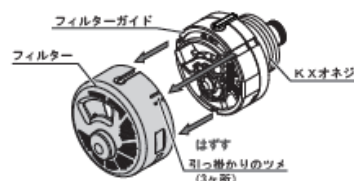
浴槽の外側の保温材を丁寧に取り除くこと

取り忘れがあると漏水の原因となります。

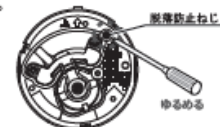
## 樹脂ボディの浴槽への取り付け

①分解方法

1 フィルターを手前に引き、取り外してください。

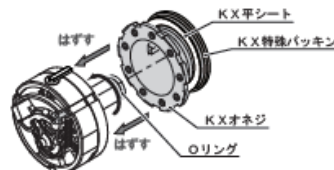


2 フィルターガイドの脱落防止ねじ(1ヶ所)をゆるめてください。



脱落防止ねじ以外はゆるめないでください

3 フィルターガイドを左に回し、KXオネジを取り外してください。



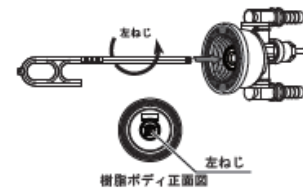
KX特殊パッキン・KX平シート・Oリングの紛失に注意

②樹脂ボディの取り付け

1 ボディの左ねじにフック棒(樹脂)を取り付けます。  
※フック棒(樹脂)は、KXオネジ締付けの際、ボディの共回り防止のため左ねじになっています。

過度の締め込みは破損の原因となります

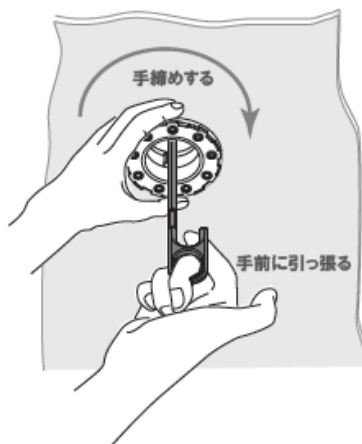
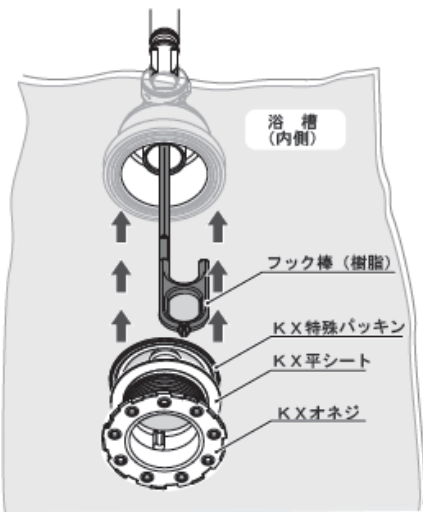
2 浴槽の穴にフック棒(樹脂)のU型部分を引っかけます。



●フック棒(樹脂)の握り方



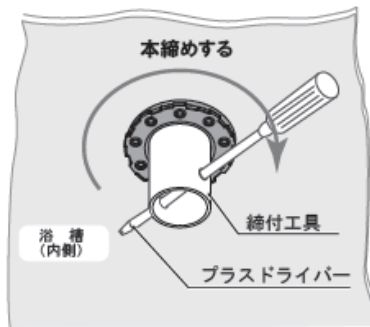
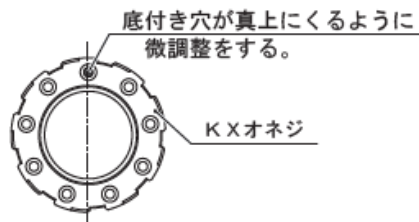
- 3 浴槽側からフック棒（樹脂）を引き寄せ、KX特殊パッキン・KX平シート・KXオネジを通し、樹脂ボディに手締めします。



⚠ **KX特殊パッキン・KX平シートの入れ忘れ注意**  
・順番に間違いないこと。漏水の原因となります。

- 4 フック棒（樹脂）を右に回して取り外してください。

- 5 付属の締付工具をKXオネジに差し込み、右に回してしっかりと（14.7N・m（150kgf・cm）程度）固定してください。めやすは手で軽く回らない状態になった後、さらに右へ1/2回転程度です。プラスドライバーを締付工具の横穴に差し込むと便利です。  
※締付工具は使い切りタイプですので同梱されている物を使用してください。



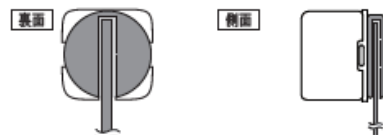
⚠ **逆回転(左回し)で位置を調整しないこと**

⚠ **しっかりと締め付けること**  
・締め付け不足は漏水の原因となります。

⚠ **必ず底付き穴が真上にあること**  
・循環金具が真正面を向きません。

## 吸気ユニットの設置

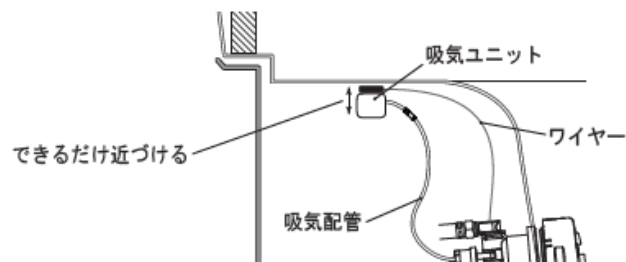
- ① 吸気ユニットを取り付ける。  
ワイヤーを巻き出し、先端に吸気ユニットを取り付ける。



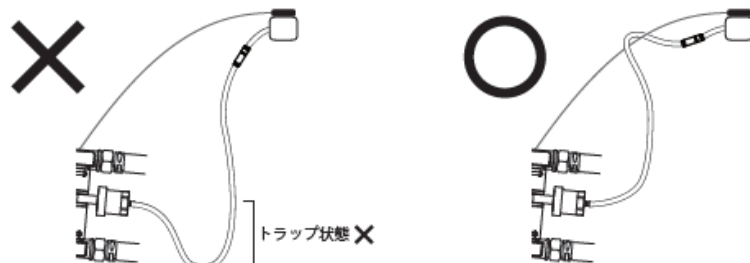
ワイヤー収納部にワイヤーを差し込む。

- ② 吸気ユニットの設置  
ワイヤーを調整し、浴槽上縁部裏側にできるだけ近い位置に吸気ユニットがくるように設置してください。

⚠ **エプロンフタ(カバー)に干渉しないようご注意ください。**



※洗い場に近い位置(エプロン側)に吸気ユニットがあるとお手入れの時作業がしやすくなります。



⚠ **吸気配管は樹脂ボディに向けて下り勾配がつくように設置してください。**

⚠ **配管がたわむ場合はワイヤーに固定するなどしてトラップにならないようにしてください。**

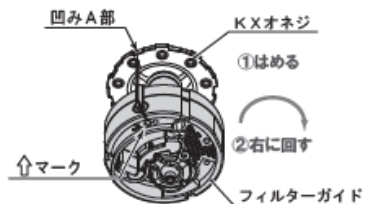
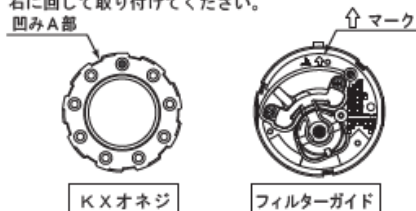
⚠ **吸気配管を引っ張りすぎると管の折れ、継手部の破壊の原因となります。**

## 漏れ検査

- ① 専用の漏れ検査治具を使用して、風呂追焚配管の漏れ検査を必ず行なってください。検査は水圧200kPa(約2.0kgf/cm<sup>2</sup>) 30分です。  
(取付方法・検査方法については漏れ検査治具説明書をご覧ください。)

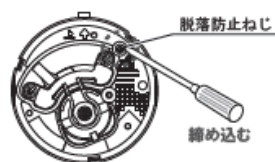
## フィルターガイド・フィルターの取り付け

- 1 フィルターガイドを左に傾け前面の ↑マークを KXオネジの「凹みA部」に合わせてはめ込み、右に回して取り付けてください。

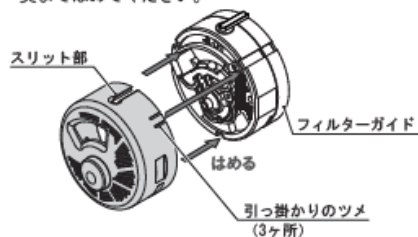


⚠ はめた後、しっかりと右に回すこと  
・後で脱落防止ねじが最後まで締まりません。

- 2 フィルターガイドの脱落防止ねじを締め付けてください。



- 3 フィルターのスリット部を上にし、フィルターガイドに奥まではめてください。



## 動作確認

### ⚠ 必ず動作確認をすること

- 給湯機の工事説明書に従いふろ試運転を完了する。
- 切替レバーを「入」側に切り替え、給湯機のリモコンにて追焚きを行う。
- フィルター正面のバブル吹出し口より微細な泡が出ていることを確認する。



- 試運転、追焚きによるバブル確認後、問題がなければ切替レバーを「切」にしてください。
- 注意シールを浴室の壁に貼り付けてください。  
※水で貼るタイプのシールです。

